

会 議 録

会議名	酒田市子ども・子育て会議（令和4年度第3回）	
内 容	<p>○協 議 （1）令和5年度保育所等利用定員の変更について</p> <p>○報 告 （1）令和5年度主な子ども・子育て支援事業について （2）令和5年度子育て支援関連の組織・窓口体制について （3）令和5年度保育所等入所申込状況について （4）出産・子育て応援交付金給付事業について （5）市立松陵保育園の統合（廃止）について</p> <p>○その他 （1）委員から事前提出された報告・提案</p>	
日時・場所	<p>令和5年2月16日（木）午前10時27分～12時 酒田市民会館「希望ホール」小ホール</p>	
出席者	委 員	<p>渡部 仁利委員、佐藤 恵美委員、佐藤 真紀委員、菅原 司芝委員、 山口 昇子委員、齋藤 公乃委員、石垣 紀子委員、宮田 浩一委員、 加藤 武雄委員、齋藤 雄一委員、遠藤 由美子委員、大滝 晋介委員、 灰谷 和代委員、伊藤 直子委員、岡部 覚委員、鈴木 渉委員</p>
	事務局	<p>健康福祉部長兼福祉事務所長、福祉企画課長、健康課健康主幹兼新型コロナウイルスワクチン接種対策主幹、教育委員会学校教育課課長補佐、子育て支援課長、子育て支援課子ども・家庭総合支援主幹兼子ども・家庭総合支援室長ほか</p>
会議の結果	別紙のとおり	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・出欠席名簿 ・資料1 令和5年度 保育所等利用定員の変更について ・資料2-1 令和5年度 主な子ども・子育て支援事業について（子育て支援課） ・資料2-2 令和5年度 主な子ども・子育て支援事業について（学校教育課） ・資料3 令和5年度 子育て支援関連の組織・窓口体制について ・資料4 令和5年度 保育所等入所申込状況について ・資料5 出産・子育て応援交付金給付事業について ・資料6 市立松陵保育園の統合（廃止）について （委員から事前提出された報告・提案に関連する資料 ※資料番号なし） ・酒田市自治会連合会会報第120号（抜粋） ・酒田市立資料館リーフレット ・山形県酒田海洋センターリーフレット（抜粋） ・酒田市議会だより第73号（抜粋） 	
特記事項	傍聴者5名	

酒田市子ども・子育て会議（令和4年度第3回）

日時：令和5年2月16日（木）

午前10時27分～12時

場所：酒田市民会館「希望ホール」小ホール

～ 1 開会 ～

○子育て支援課課長補佐

それでは、定刻前ではございますが、皆様おそろいになられましたので会議を始めさせていただきますと思います。本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。暫時の間、進行を務めさせていただきます、子育て支援課課長補佐の渡部と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、本日欠席の委員をご報告いたします。酒田飽海PTA連合会、柿崎敦子様。酒田地区私立幼稚園・認定こども園PTA連合会、富山航太郎様。酒田市自治会連合会、高橋利春様。以上3名の委員より欠席のご連絡をいただいております。なお、公募委員、薬丸有希子様については、遅れてご出席の予定となっております。したがって、本日は委員20名中17名のご出席をいただいております。酒田市子ども・子育て会議条例第7条第2項に「委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない」と定めておりますが、本日は、規定の要件を満たしておりますことをご報告いたします。

また、本日は、酒田市議会民生常任委員会の委員の皆様が、会議を傍聴されますことをご報告いたします。

それではこれより、令和4年度第3回酒田市子ども・子育て会議を開会いたします。次第にいたがいて、進めさせていただきます。それでは、はじめに健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。

～ 2 健康福祉部長あいさつ ～

○健康福祉部長

あらためまして、おはようございます。本日はお忙しい中、またお足元の悪い中ご出席を賜りまして、本当にありがとうございます。委員の皆様には、日頃より各方面で、本市の子育て施策に関して、推進のためのご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。国の方では、様々な国会での議論が行われておりますが、特に子ども・子育ての予算が倍増されるなどということも本日報道などがなされておりました。また、一番の皆さんの関心事になります、新型コロナウイルス感染症についても、5月8日からは5類に引き下げるとか、3月13日からは、マスクの着用は個人の判断に委ねるなどというような、

方針が示されております。まずは、引き続き感染対策を徹底しながらではございますが、様々な活動が活発になっていくものと考えております。さて、酒田市の新年度、令和5年度の予算につきましては、先日市長が記者会見をさせていただきましたが、子育て支援に関して少しご報告をさせていただきます。安心して、酒田で子育てができるようにということで、子どもの医療費の無償化をこれまでの中学3年生までから、高校3年生までを対象者として拡大するという予定にして、今準備を進めておりますし、議会に提案をさせていただきます。また、食材料費の高騰に伴いまして、保育所または小中学校の給食費の値上げによる子育て世帯の負担を軽減するなど、提案をさせていただく予定であります。また、健康福祉部内に、新しい名称になりますが、こども家庭センターというものを立ち上げて、すべての妊産婦、子育て世帯に寄り添う、妊娠期から出産、子育てまで一貫して相談体制を構築して、多様なニーズに即した必要な支援につなぐ、伴走型相談支援の充実を図って参りたいと考えております。全国的に出生数や合計特殊出生率の低下が続く中、政府においては、これまでとは次元の異なる少子化対策について検討を進められているようです。本市の状況を少し申し上げますと、全国と同様に少子化の状況が続いております。昨年1年間、暦の1月から12月までの1年間になりますが、出生数は458名です。前年度が480名でしたので、さらに低下をしております。そして令和3年、一番新しい合計特殊出生率の方は1.23です。県の平均が1.32となっております。それぞれ5年前との比較では、出生数で157人の減、パーセントで26%の減となっております。合計特殊出生率でも、0.27ポイントの低下となっております。少子化が、そして人口減少が進んでいる状況でございます。この状況が続くことにより、全国的に社会基盤の維持も難しくなることが危惧される場所ですが、本市だけで解決をするというのはなかなか難しい問題でございます。しかしながら、子育て世代のニーズをとらえて、家庭、地域社会が一体となって、酒田っ子をすくすくと育むことができるように施策を講じて参りますので、委員の皆様からも、引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。本日の会議では、保育所等利用定員の変更に関してご協議いただくほか、令和5年度の子育て支援に関する新体制や取り組み等についてご報告をさせていただきますので、委員の皆様からはぜひ率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

～ 配付資料確認 ～

○子育て支援課課長補佐

それでは、本日配付しております資料のご確認をお願いいたします。(中略)

それでは、次第に従いまして協議に進ませていただきます。これより、議事進行を灰谷会長にお任せしたいと思います。灰谷会長よろしくようお願いいたします。

～ 3 協 議 ～

○灰谷会長

灰谷でございます。委員の皆さまからは、忌憚りの無いご意見、ご質問をいただきますとともに、議事進行にご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

はじめに、協議事項として、(1) 令和5年度保育所等利用定員の変更について、資料1により事務局から説明をお願いいたします。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

(資料1により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。令和5年度保育所等利用定員の変更について、説明がありました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思います。皆様いかがでしょうか。

○山口委員

酒田市法人保育園・認定こども園協議会の方から出席しております。今年度新たに定員変更の基準を見直していただいて、このような表の通り、定員変更の希望が出されたようですけれども、当協議会で話し合う中で、実際少子化がかなり進んでおりまして、そのような中で、今回適用された基準の見直しではなかなか実際まだまだ厳しいような状況があります。今の基準ですと、1月から12月までということで、年度をまたいでの入所状況を見ての変更となるわけですけれども、育児休業の取得率が、大分浸透して参りまして、保育園等の入所、0歳児は4月で入所するお子さんは、かなり少なくなってきた、年の後半9月10月以降に多くなっているような状況ですので、年度始めですと、各園とも定員を割って入所されている状況にあります。現行のルールにしたがって見直していく場合に、なかなかこの状況が厳しいってというような声が各園さんの方からも上がりまして、もう一度この次年度以降の、さらなる定員変更の基準の見直しを、ご検討いただきたいなというような声が上がっております。

○灰谷会長

ありがとうございます。このことについていかがでしょうか。

○子育て支援課長

昨年8月のこの会議で、これまでの定員変更の基準を緩和した形での見直しをさせていただきました。ただ、今ご発言あった通りに、保育関係の事業者の方々からは、やはり、それでは年度をまたいでの実績を見る形になるので、厳しいというお声も今いただいているところでございます。ですので、定員変更の仕方につきましては、また内部で検討させていただいたうえで、子ども・子育て会議、次回になるかと思いますが、そちらの方に、

変更の見直し等ご提案するような形で、基準の見直しも進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○灰谷会長

このような形でよろしいでしょうか。はい。

ほかに質問、意見等はございませんでしょうか。それでは、ないようですので次に移りたいと思います。

～ 4 報 告 ～

○灰谷会長

次に、報告事項として、(1) 令和5年度主な子ども・子育て支援事業について、資料2-1及び2-2により事務局から説明をお願いします。

○子育て支援課課長

(資料2-1により説明)

○学校教育課課長補佐

(資料2-2により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。令和5年度主な子ども・子育て支援事業について、説明がありました。ご意見またはご質問などあればお聞きしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

○佐藤恵美委員

酒田特別支援学校PTAを代表して参加させていただいております、佐藤と申します。今ご説明いただいた、つきたい力、酒田市のこの学びの木ということで、学校教育として子どもたちの根の力を育てるというご説明があったんですけども、学校教育ということは、イコール先生と子どもたちという関わりがあるんですけども、指導から支援の方向に変えていくってということは、これから学校の先生たちに、こういった形で子どもたちに指導していってくださいという、講習なり指導力を上げるような指導を徹底させるっていう形で、学校に伝えていくのでしょうか。お願いします。

○学校教育課課長補佐

ありがとうございます。そもそもこの学びの指導から支援への転換につきましては、新学習指導要領での主体的な学びというところからスタートしているところでございます。

この主体的な学びへの転換というイメージのために、この木のモデルを使うことで、木が育つには光を与え、つまり指導するだけでは不十分だよねと、もちろん教えるべきことは教えていくのはこれまでと同じなのですが、教えるだけでは育たない部分、経験させる部分もしっかりと子どもたちに経験させていきたいと思いますという合意形成を図る目的で、こういう木のモデルを作りました。実際、今年度より小中一貫教育推進事業ということで、全部の小中学校で小学校、中学校の先生が一カ所に集まって、こういったつきたい力、どんな力をつけていきたいか、そのためにはどんな教育活動が有効だろうかという研修会を各学区で実施しているところでございます。今年度スタートしたばかりで、まだ十分とは言えないかもしれませんが、今後ともそういった連携は進めていきたいと考えております。

○灰谷会長

それでは、ほかに質問、意見等ありませんでしょうか。

○岡部覚委員

酒田青年会議所の岡部でございます。今ほどご説明いただきましたところで、いろいろ支援の内容というのは見えてきたんですけども、先ほど健康福祉部長のあいさつの中でも5類移行ということで、これからコロナが5類移行になっていろいろ緩和になってくると思うんですけども、これから子どもの、出産とかではなくて学校教育の方で、今までそのコロナ前にやっていたような体験学習とか、そういったものがどんどん動いてくると思うんですけど、そちらの方は今どのようなお考えを持っているかお聞きしたいと思います。

○学校教育課課長補佐

ありがとうございます。国の方の検討委員会でも、4月1日以降の教育活動に関しましては、制限を設けない方向で検討しているという回答が出て、まだその具体策は出ていないので、それも注視しながらではございますが、学校教育課としましては、来年度以降、子どもたちの関わりを増やしていくというのは、一つの大きなテーマでございます。もちろん、5類に変わったからといって、感染状況が大きく変わるわけではないので、状況を見ながらではございますが、方向性としては、ご指摘の通り関わりを是非増やしていきたいと考えております。

○岡部覚委員

ありがとうございます。コロナ禍で得た一つの武器っていうのはオンラインでもあると思うんですけど、やはり子どもたちは、実際に見たり体験したりという、その中でいろんな感性とか感受性とかを育んでいくのだと思います。是非ですね、子どものうちにしかできない経験というのがあると思いますので、そこを、我々も青年会議所として青少年育成事業をやっており、いろいろな面で協力しながらやっていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○灰谷会長

ご質問ありがとうございました。徐々に状況も変わってくるかと思しますので、少しずつ進めていけたらいいかと思します。

それでは、ほかに質問、意見等はありませんか。

○鈴木渉委員

連合酒田飽海地協の鈴木です。子育て支援課、学校教育課どちらにもいえることですが、予算が付いているのは分かるんですけども、新規と拡充は多分予算として増えているのかなと判断はできるんですけども、継続の部分で、この事業はこの予算で昨年と比べて増額になっているのか、減額になっているのか、それが付いていれば、減額になったとすれば事業として進んでいるのかなと、増額になっていればこれに今年度は力を入れていくのかなと、そういう判断はできるんですけども、これだとちょっと、この金額、このぐらいで大丈夫なのっていう判断がつきにくいかと思しますので、その辺りをよろしくお願ひしたいと思します。

○子育て支援課長

ご意見ありがとうございます。表記について、少し分かりにくいところがあったこと大変申し訳ございません。新規につきましては、新たに付いた金額で、拡充については、内容等を含めて拡充させていただいているところでございますが、予算の増減については記載していなかったところでございます。基本的に、継続となっているものは、今までの事業の中身がそのまま同じ規模でできるという形で書かせていただいております。ただ、積算の内容については、どうしても予算の増減で見ると、対象者の子どもが減ったところでの減もございしますので、ちょっと予算の増減だけで、その規模や事業内容をはかるのはなかなか難しいかなとは思いますが、今後このような資料出ささせていただくときに、少し工夫しながら、皆さんにご理解いただけるような形での資料の提示等をさせていただきたいと思します。よろしくお願ひいたします。

○灰谷会長

資料の提示について、よろしくお願ひいたします。

ほかに質問、ご意見等ございませんでしょうか。ないようですので、次に移ります。

続いて、報告事項の(2)令和5年度子育て支援関連の組織・窓口体制について、資料3により事務局から説明をお願いします。

○子育て支援課課長

私の方から資料3を説明させていただきます。その前に、大変申し訳ございません、先ほどの資料2-1について、訂正をさせていただきます。資料2-1に保育こども園課の事業として(5)病後・病後児保育事業と書いてございますが、正しくは病児・病後児保育で、字が児童の児でございまして、大変申し訳ございません。訂正させていただきたいと思します。よろしくお願ひいたします。

(引き続き資料3により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。令和5年度子育て支援関連の組織・窓口体制について、説明がありました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

○大滝晋介委員

酒田地区医師会の大滝です。こういうふうに、まとまって連携が取れるっていうのは非常にいいことなんでしょうけども、実は私、子育て世代包括支援センターぎゅっとの立ち上げの時からちょっと参加させていただいてるんですが、そういうこともあって、東北の小児科の小児科医会っていう東北地区の大会でちょっと報告させていただいたんですが、その時に酒田はすごく機能をしていると、すごい評価をいただいたんです。それはなぜかという、専任の保健師がいるっていうことなんです。山形市とかいろんなところで子育て世代包括支援センターっていうのはできているんですが、ほとんど機能していないんですね。それはなぜかという、こういう大きな窓口があって、対面する人がころころ変わってしまうので、お母さんたちが相談に行っても、結局表面的な支援しか受けられないわけです。このぎゅっとを立ち上げる時に、ネウボラ事業という、ネウボラっていう言葉も書いてたんですがそれがいつの間になくなってしまったんですが、ネウボラっていうのはフィンランドでできた制度で、生まれた時から、妊婦さんから、子育て、大きくなるまで、1人の保健師がずっと責任を持って相談に乗ってくれる事業なんですね。そういうのを目指して、酒田のぎゅっとは、みんなで立ち上げたんですが、それがすごく山形県でも、東北でも評価されて、酒田の包括支援センターは、好評価をいただいていたんですが、こういうことも家庭センターという中に含まれてしまうと、お母さんたちが相談に行った時に、いろんな職員が相談に乗ってくると、お母さんたちとしては、毎回同じことをしゃべらなくちゃいけない。お母さんたちのことを、妊婦さんの時から、乳児、幼児、小学校に入るまで1人の保健師がずっと見てくれるってことになる、気軽に相談に行けるというすごくいい点がなくなってしまうんじゃないかという、そういう不安があります。もう一つ、山形県で評価されてるのは、酒田に発達支援室っていうのがありますよね。それも、統合されるということで、発達支援室も山形県のほかの地区にはない部署なんですね。我々が発達支援が必要だと思った子どもさんは、発達支援室に連絡すると、白畑さんはそこにいらしたから分かると思うんですが、僕らが検診に行って、この子ちょっと落ち着きないから発達支援室に連絡して、フォローしてもらおうっていう、そういう窓口になつてるところがあるんですが、それも、酒田市にしかない部署なんですね。それがこういうふうな大きな組織の中に飲み込まれてしまうと、今までせっかく酒田でやってきた良いことが、埋もれてしまうような、後退してしまうような危惧があるので、そこのところは市の方としてどういうふうに組織として残していくのか、良いところをどうやって残していくのかっていうのを、市の方ではどういうふうに考えているのでしょうか。

○健康福祉部長

ご質問、ご意見ありがとうございます。ぎゅっとの立ち上げの時から、大滝先生からは様々な面でご意見、ご支援をいただいております。ご指摘の通り、組織が多く、大きくなることでの様々なデメリットもあるかと思いますが、基本的に、まだ人事は確定はしていないわけですが、人員体制は現在の状況を維持していただくように人事当局にはお願いをしております。やはり、場所が広くなるということで、いろんな職員がいるっていうのはあるかと思いますが、例えば込み入った相談でしたら、場所をあらかじめ予約をして丁寧に対応するとか、相談体制も担当がいらないから分からないとかではなくて、きちんと対応ができるような形で内部で実施していきたいと考えております。何よりもこの3機関が、同じ場所において、同じ方向で、同じ目線で酒田の子どもたちを応援できるような体制にしたいというのが、今回の一番のねらいでございました。場所が離れていることでのデメリットなども多くございましたので、そういう視点から新たなものを作り上げていく中で、今先生からいただいたご意見をしっかりと受けとめて、体制づくりを充実させていきたいと思っております。子どもさんが成長するに従って、年齢とともに、生活する場、活動する場は変わってくるので、そこで母子保健から発達支援、あるいは、発達支援から学校教育にというふうに、そこも庁内で連携ができるような形をとっていきたいと思っておりますが、そこをしっかりと受けとめて、対応して参りたいと思っております。ありがとうございました。

○灰谷会長

今までの取り組みを活かしながら、進んでいけたらいいのかなと思います。

ほかには、皆さん、質問、ご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、次に移りたいと思っております。

続いて、報告事項の(3)令和5年度保育所等入所申込状況について、資料4により事務局から説明をお願いします。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

(資料4により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。令和5年度保育所等入所申込状況について説明がありました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。

それでは、ないようですので、次に移ります。

続いて、報告事項の(4)出産・子育て応援交付金給付事業について、資料5により事務局から説明をお願いします。

○健康課健康主幹

(資料5により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。出産・子育て応援交付金給付事業について説明がありました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思いますのですが、皆さまいかがでしょうか。

特にはないようなので、次に移ります。

続いて、報告事項の（５）市立松陵保育園の統合（廃止）について、資料６により事務局から説明をお願いいたします。

○子育て支援課長

（資料６により説明）

○灰谷会長

ありがとうございました。市立松陵保育園の統合（廃止）について説明がありました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思いますのですが、皆さまいかがでしょうか。

○佐藤真紀委員

公募委員の佐藤です。こちらの資料の中で、松陵保育園の統合（廃止）後は、児童発達支援センターはまなし学園における発達支援等の対応の強化とあるんですけども、うちの子もはまなし学園にいたので、同じ敷地内にあるということで、交流保育が行われていたと思うんですね。運動会なんかも一緒に合同でさせていただいたりしていたので、松陵保育園が廃止された後の交流保育の場所ってというのは、みなと保育園さんの方になるのでしょうか。

○子育て支援課長

ありがとうございます。今現在、はまなし学園と松陵保育園、すぐ近いところにあるので、交流保育につきましては両園で行っていた状況ですが、コロナ禍になってからなかなかそこができていない状況が続いておりました。今後、松陵保育園が廃止された後につきましては、基本的には同じ公立園のみなと保育園との交流を進めていきたいと考えてございます。もし可能であれば、ほかの法人保育園さんとの交流等もやっていければとも考えております。

○灰谷会長

ありがとうございます。ほか、質問、ご意見等はございませんでしょうか。

ないようでしたら、以上で議事を終了します。

委員の皆さまには、会議の進行にご協力いただきありがとうございました。では、事務局へお返しします。

～ ５ その他 ～

○子育て支援課課長補佐

ありがとうございました。では、その他に進ませさせていただきます。

まず、宮田浩一委員より、事前にご発言及び関連資料の配付についてご連絡をいただいております。冒頭で確認しました資料等により、宮田委員よりご報告、ご提案をお願いいたします。

○宮田浩一委員

ありがとうございます。宮田です。酒田市子ども会育成連合会の相談役として、この場に参加させていただいております。実は私、以前行政の方から酒田市子連の建て直しを頼まれまして、3人でスタートして、今は10名の組織体制でやらせていただいて、平成24年に会長を辞任しましたら、会則を顧問から相談役に変えて残れと言われて、現在相談役の立場で活動をお手伝いさせていただいております。

皆さんのお手元に、自治会連合会の会報とか議会だよりが載っておりますけれども、この件に関して、いろいろと思うところがあったものですから、事務局から資料を用意していただいて、今回若干の時間をいただいております。まず、5月27日に開催の第1回子ども・子育て会議、このとき私、県庁で開催の県の青少年県民会議の総会で、庄内代表の副会長の立場で参加したものですから欠席させていただいておりますが、この時の議事録を見ましたら、11、12ページに、自治会連合会副会長の立場で参加の松陵コミセン会長の高橋利春委員から、学童保育に行っていない児童を対象にした寺子屋形式の事業を実施していること、ほかには宮野浦コミセンさんも実施中のため、市内のコミセンに拡充をお願いしたいというような発言がありました。私も以前から、このような事業展開につきましては、酒田市子連の会長時代から、遊びの楽校、生き生き楽校ということで、出前講座やリーダー研修会なんかを行っておりますし、平成16年から18年の3年間には、文部科学省からの委託で同じような事業を3年間行っております。9月の青少年を伸ばそう市民会議、こちらの代表も仰せつかっておりますけれども、9月の部会で2月の研修会に何をとり上げようかということでいろいろ協議したのですが、この時の議事録を見まして、研修部会の方に提案をして、2月10日、この前終わったばかりでございます。ちょうどいいタイミングで、令和4年の11月15日に、この自治会連合会の会報に載ったものですから、今回この資料を提出させていただきました。各地区に36のコミセンがあり、それぞれ社会教育とか、子どもに関する事業に一生懸命取り組んでおりますが、同じような目標で、このような「学びと遊びの楽校」をもっともっと浸透していただければいいなということで考えたものですから、今回のような機会をとらせていただきました。あと、そのほかに、皆さんのお手元に議会の議事録、11月16日号の議会だよりが載っております。この一番下に、郷土愛ある子どもたちの育成ということで、市村議員から質問がされまして、教育長がこのようにお答えをしております。私はこれを見まして、酒田市子連の理事協議委員会でこのテーマをとり上げまして、前々から海洋センターとか資料館を活用して親子で学習する機会を作りたいと、または、感染症禍でいろんな事業ができない各学区・地区の子ども育成会の事業として、取り上げるのも一考ではないかということで、文書にして提案をしております。このほかにも、令和3年の3月末日で国の史跡指定になった山居倉庫もありますし、この近辺に、いろんな恵まれたそうい

う施設、環境もありますので、ご参会の皆さんからもぜひ、こういうふうな施設を見学学習していただくことによって、郷土愛溢れる市民の育成に繋がっていけばいいなということで、提案をさせていただきました。以上でございます。ありがとうございました。

○子育て支援課課長補佐

ありがとうございました。宮田浩一委員より、「学びと遊びの楽校」の事例提供による啓発の取り組み、酒田市立資料館と山形県酒田海洋センターの積極的な活用に関するご提案をいただきました。これに関して、事務局より参考事項、補足事項の説明をさせていただきますと思います。まず、「学びと遊びの楽校」について、子育て支援課からお願いします。

○子育て支援課長

「学びと遊びの楽校」についてのご提案等ありがとうございます。コミセンにおいて、このような子育て関連の事業、学びの事業をしていただくこと、大変ありがたいと思っております。宮野浦地域においても、松陵学区コミセンにおいても、やはり地域の人材、教えてくださる方がいらっしゃって、お気持ちがあって、お子さんの遊びと学びを支えてくださっているというところ、大変ありがたいと思っております。この松陵学区につきましては、公益活動支援補助金か何かをお使いになっていたという記憶がございます。そのような補助事業等も活用いただきながら、できればいろんな地域に広がっていただけるとありがたいと考えております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

○子育て支援課課長補佐

次に、酒田市立資料館と山形県酒田海洋センターの積極的な活用について、学校教育課からお願いいたします。

○学校教育課課長補佐

ご提言どうもありがとうございました。先ほども説明した通り、子どもたちの関わりの機会を増やししながら、根っこの力を育てていこうというところでは、大変ありがたいご提言であったと思います。郷土愛を育てることにしましては、副読本を作成して、学校でも教えているところですが、最近コロナ禍でやはり、そういった座学の授業だけでなく、実際に対面であったりだとか、施設に行ってみ学するといった機会って本当に重要だよねっていうことを、改めて認識しているところでございます。そういった行事等減っている中で、今再構築の時期なのかなと。今後、その感染状況を踏まえながら増えていきますので、そういった時にこういった資料も学校の方に情報提供しながら、また更に、これまでは学区の施設をめぐるが多かったんですけども、例えば他の学区から行くようにできるように、例えばスクールバス、学習バスの支援であるとか、そういった支援を含めながら、今後学びたいと思った子どもたちが学べる環境を作っていきたいと考えております。

○子育て支援課課長補佐

それでは、宮田浩一委員のご報告、ご提案に関して、委員の皆さまから何かご意見、またはご質問などあればお伺いしたいと思います、いかがでしょうか。

それでは、何かほかにご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○宮田浩一委員

青少年を伸ばそう市民会議で、3月31日付けで会報を発行する予定で、今準備を進めております。菅原さんが広報部長で、私もそのメンバーの一員として、今一生懸命やっておりますが、その中に2月の10日にあった研修会の内容を詳しく書いておりますので、ぜひそちらの方も、自治会回覧になるとと思いますが、ご覧になっていただければ、またご理解いただけるんじゃないかなと思いますので、よろしくお願ひします。

○子育て支援課課長補佐

そのほか、何かありますでしょうか。

○菅原司芝委員

がくほれんの菅原と申します。先だって新聞報道で見ましたけれども、総合教育会議において、川南地区の小学校の再編ことが記事になっておりました。齋藤先生もおいでになっておりますので、ちょっとお聞きするところですが、検討はまだ始まったばかりというふうに思います。これから、学校施設をどういうふうにするかですね、様々な課題もあると思いますので、長い年月をかけて煮詰まってくるのかなと思います。それに付随したことで、学童保育もですね、いくつか川南地区にあるわけで、それを統合するというふうな形も一つ、案件としてでてくるのかなと思います。特に、川南地区については、宮野浦はうちの方で持ってますけれども、例えば十坂地区であると十坂保育園さんですかね、そちらの方で運営主体となってまして、運営主体がそれぞれ異なってくるということになるかですね、そこで、やっぱりどちらがどういうふうにして運営をやっていくのかということも、課題になってきますし、財政運営の面でも、経営ですね、そういう面でもいろいろと課題も出てくると思います。ぜひ、学校再編と共にですね、学童の統合につきましてと言いますか再編につきましてもですね、分かる範囲で結構ですので、今後適宜情報等の提供をお願いしたいなというふうに思っております。

○子育て支援課長

確かに川南の学校が関連するところだと、がくほれんさんが運営する学童、十坂協会さん、酒田保育協会さんの3法人が運営主体として、今学童を運営していただいております。ありがとうございます。こちらの学校再編の形については、まだちょっと詳しいところが分かっていないところがございます。ただ、私どもの方としても、学童保育を所管する者としては、教育委員会の方にも、やはり今現在の小学校と学童保育所は、どうしても切り離せない関係になっているというところから、ぜひその検討の段階から情報をもらったり、検討の中に入れてくださいというお願ひを今しているところがございます。これはちょっと私の考えかもしれませんが、やはり学童保育所と学校がちょっと離れていると、移動の

問題と、子どもの安全等の問題がやはり出てくると思っておりますので、できれば近いところに設置するという方向もあるのかなと考えております。ただ、これに関しましても、どのような施設を活用していくのかも含めて今後検討されていくというところでございますので、あわせて学童保育所の方も、一緒に考えていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

○子育て支援課課長補佐

委員の皆様から、ほかにございませんでしょうか。

それでは、事務局からお知らせいたします。次回新年度の会議については、開催時期が決まりましたら、文書でご案内をいたします。次に、民間からおいでいただいている方々には、報酬及び旅費をお支払いいたします。小さな封筒に、内訳書を入れてお配りしております。およそ3週間で指定口座へ振り込まれますので、ご確認をお願いいたします。以上、事務局から事務連絡でした。

皆様から、ほかに何かございませんでしょうか。

～ 6 閉 会 ～

○子育て支援課課長補佐

それでは、長時間にわたりありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第3回子ども・子育て会議を閉会いたします。お気をつけてお帰りください。